

GMO CLOUD

GMOクラウド株式会社 証券コード：3788

2016年12月期 第1四半期決算概要

当資料取扱上のご注意

本資料に記載された内容は、2016年5月9日現在において、一般的に認識されている経済・社会等の情勢ならびに当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

目次

1. GMOクラウド会社概要

2. 2016年12月期第1四半期決算概要

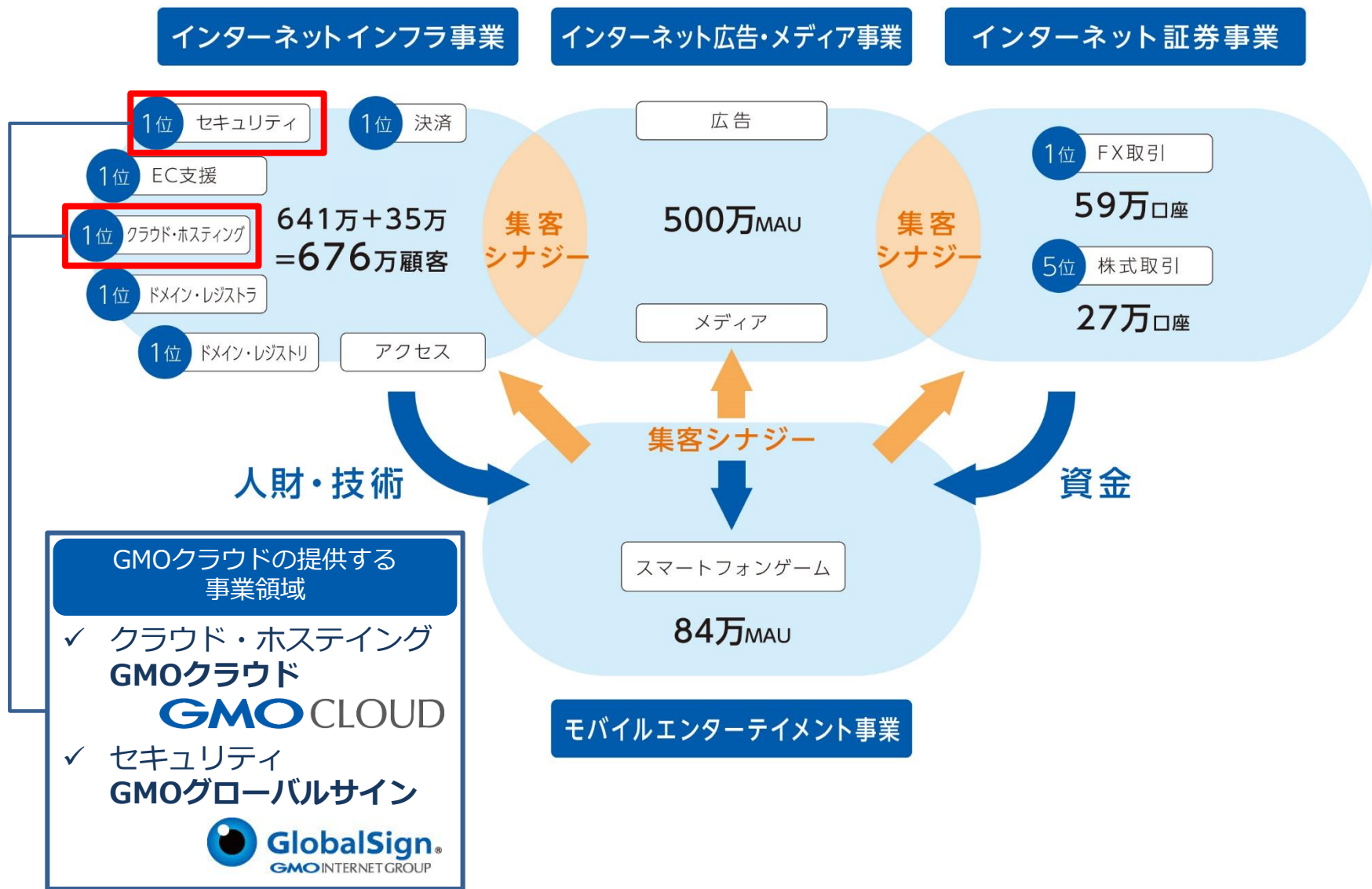
3. 事業概況

- ✓ クラウド・ホスティング事業
- ✓ セキュリティ事業
- ✓ IAM事業
- ✓ ソリューション事業

4. IoTにおける当社の成長戦略

1. GMOクラウド会社概要

会社名	GMOクラウド株式会社
証券コード	3788 (東証一部)
設立	1997年 5 月 株式会社アイル
事業内容	総合インターネットサービスの提供
主力事業	クラウド・ホスティング事業 (クラウドサービス・ホスティングサービス) セキュリティ事業 (電子認証サービス) I A M 事業 (ID一元管理・フェデレーションプラットフォーム) ソリューション事業 (Webソリューション、翻訳特化クラウドソーシング、ネットワークエンジン、エネルギーマネジメント、電子契約)
親会社	GMOインターネット株式会社 (東証一部 : 9449) 被持株比率51.3% * 2001年5月 GMOインターネットグループへ参加
子会社	16社 連結14社(国内6社、海外8社) 非連結1社、持分法1社 (2016年3月末現在)
従業員数	連結770名 (2016年3月末現在)



数値については、2015年12月末現在

【インターネットの安全を支える】

1. 安全なクラウド基盤の提供
(クラウド・ホスティング事業)
2. 電子認証により、通信（取引）を守る
(セキュリティ事業)
3. ID管理により、利用者の入り口を守る
(IAM事業)

【企業のクラウド利用を支える・便利にする】

4. 「O2Oアプリ」「翻訳特化クラウドソーシング」
「ネットワークエンジン」
「エネルギーマネジメント」「電子契約」
(ソリューション事業)

2. 2016年12月期 第1四半期決算概要

業績

売上高： **2,829**百万円、営業利益： **167**百万円

経常利益： **119**百万円、四半期純利益※： **20**百万円

※親会社株主に帰属する四半期純利益

各セグメントの状況

クラウド・ホスティング事業

- 既存サービスのシステム統合を推進（販促効率向上、コスト低減効果）

セキュリティ事業

- インフィニオン社との協同プロジェクトを実施

I A M 事業

- 「IDアクセス管理サービス SKUID byGMO」β版の提供開始

ソリューション事業

- GMO電子契約サービス Agree、深耕営業、新規開拓実施
- ネットワークエンジン「Photon」大手ゲーム開発会社より受注
- クラウドソーシングのスピード翻訳受注件数は過去最高を記録

2016年 第1四半期連結決算概要[累計比較]

事業は順調に推移したものの、持分法による投資損失35百万円、為替差損31百万円の計上により減益

単位：百万円	2015 1Q	2016 1Q	前年同期比
売上高	2,783	2,829	+1.6%
営業利益	125	167	+33.5%
経常利益	191	119	-37.6%
四半期純利益※	79	20	-74.1%

※親会社株主に帰属する四半期純利益

2016年 第1四半期セグメント情報 [前年同期比較]

クラウド・ホスティング事業は、サービス内製化及びのれん償却終了により増益。IAM事業は投資フェーズにより営業損失

売上高		百万円	
セグメント	2015年 1Q	2016年 1Q	前年 同期比
クラウド・ホスティング	1,506	1,386	-7.9%
セキュリティ	1,005	1,161	+15.5%
I A M	59	44	-24.1%
ソリューション	260	280	+7.6%
消去又は 全社	-47	-43	-
連結計	2,783	2,829	+1.6%

営業利益		百万円	
セグメント	2015年 1Q	2016年 1Q	前年 同期比
クラウド・ホスティング	56	111	+97.4%
セキュリティ	175	211	+20.5%
I A M	-97	-136	-
ソリューション	-9	-18	-
消去又は 全社	0	0	-
連結計	125	167	+33.5%

2016年 第1四半期セグメント情報 [前4Q比較]

クラウド・ホスティング事業は、年度末需要の影響もあり増収増益。一方、セキュリティ事業は、4Qの海外季節要因の反動と投資案件により減収減益となったものの成長基調

売上高		百万円	
セグメント	2015年 4Q	2016年 1Q	前四半期 比
クラウド・ホスティング	1,384	1,386	+0.1%
セキュリティ	1,243	1,161	-6.6%
I A M	81	44	-45.3%
ソリューション	330	280	-15.3%
消去又は 全社	-43	-43	-
連結計	2,997	2,829	-5.6%

営業利益		百万円	
セグメント	2015年 4Q	2016年 1Q	前四半期 比
クラウド・ホスティング	83	111	+34.0%
セキュリティ	276	211	-23.7%
I A M	-113	-136	-
ソリューション	-7	-18	-
消去又は 全社	0	0	-
連結計	240	167	-30.1%

2016年 第1四半期連結決算概要[四半期比較]

1Qは、4Q海外季節要因のセキュリティ更新売上が無いため減収。また為替差損と持分法投資損失の増加により利益幅圧縮

単位： 百万円	2015年 1Q	2015年 2Q※1	2015年 3Q※2	2015年 4Q※3	2016年 1Q	
売上高	2,783	2,836	2,661	2,997	2,829	4Q季節要因のセキュリティ更新売上が牽引したため他四半期より増収傾向
営業利益	125	90	23	240	167	
経常利益	191	125	23	219	119	【営業外損失】 為替差損 31百万 持分法投資損失 35百万 の影響
四半期 純利益※4	79	232	-61	76	20	

※1. セキュリティ事業環璽信息科技有限公司（上海）有限公司を連結開始

※2. GMOクラウドアメリカ、GMOクラウドシンガポールは会社売却、2015年3Q連結対象外

※3. セキュリティ事業GMO GlobalSign インドを連結開始

※4. 親会社株主に帰属する四半期純利益

連結貸借対照表

単位：百万円	2015年12月末	2016年3月末	増減率	主な資産増減要因
流動資産	5,620	5,488	-2.4%	✓ 現預金の減少
(現金預金)	3,330	2,978	-10.6%	351百万円
(売掛金)	1,379	1,379	0.0%	✓ のれんの減少
固定資産	3,595	3,516	-2.2%	99百万円
(ソフトウェア)	421	437	4.0%	
(のれん)	1,034	934	-9.6%	
(投資有価証券)	326	296	-9.1%	
(関係会社株式)	304	261	-14.0%	
資産合計	9,216	9,005	-2.3%	
<hr/>				
負債	3,774	3,751	-0.6%	主な負債増減要因
(前受金)	1,499	1,552	3.6%	✓ 前受金の減少
(借入+リース債務)	761	742	-2.4%	53百万円
純資産	5,441	5,253	-3.5%	✓ 預り金の減少
(株主資本)	5,274	5,131	-2.7%	30百万円
(その他包括利益累計)	6	-35	-	✓ 未払法人税等
(非支配株主持分)	160	157	-2.1%	の増加
負債・純資産合計	9,216	9,005	-2.3%	43百万円

主な資産増減要因

✓ 現預金の減少
351百万円

✓ のれんの減少
99百万円

主な負債増減要因

✓ 前受金の減少
53百万円

✓ 預り金の減少
30百万円

✓ 未払法人税等
の増加
43百万円

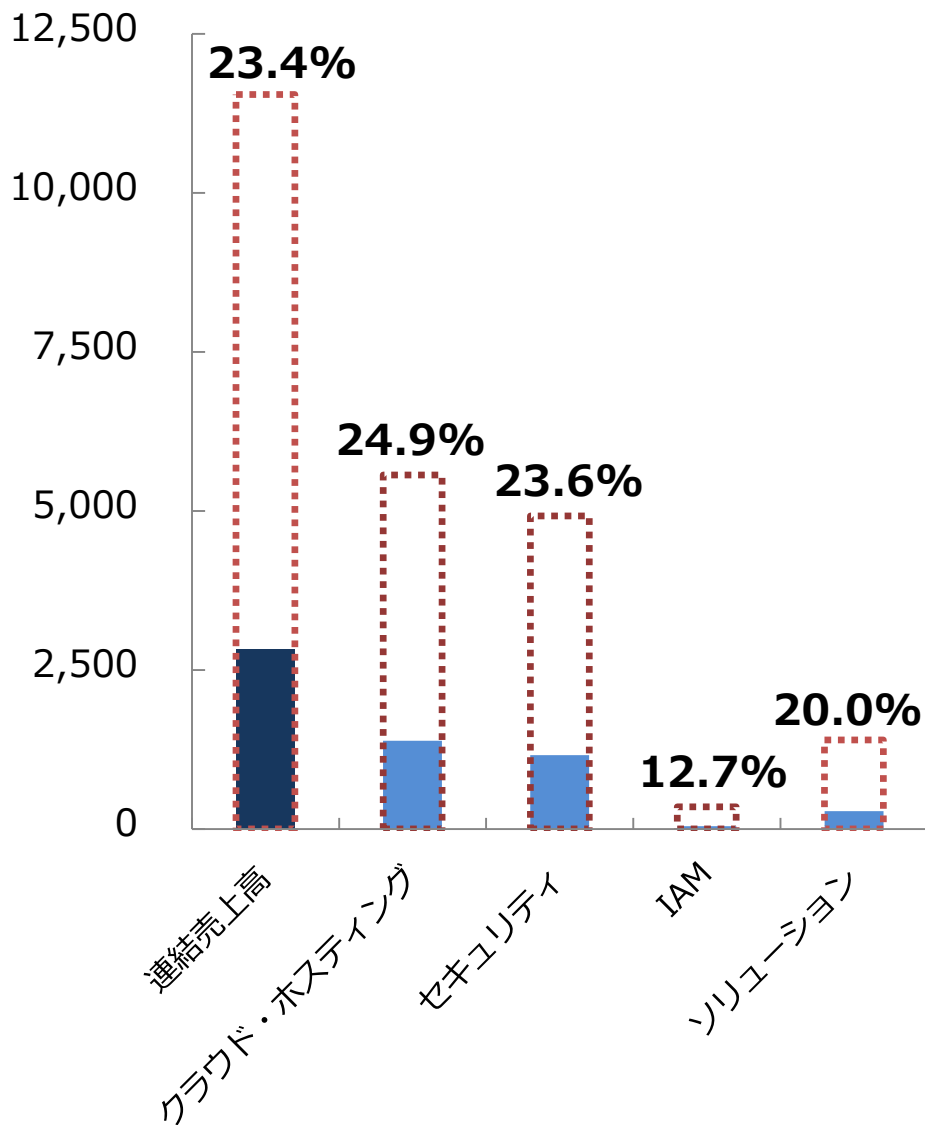
キャッシュ・フロー概要

フリーキャッシュ・フロー※は、112百万円となりました

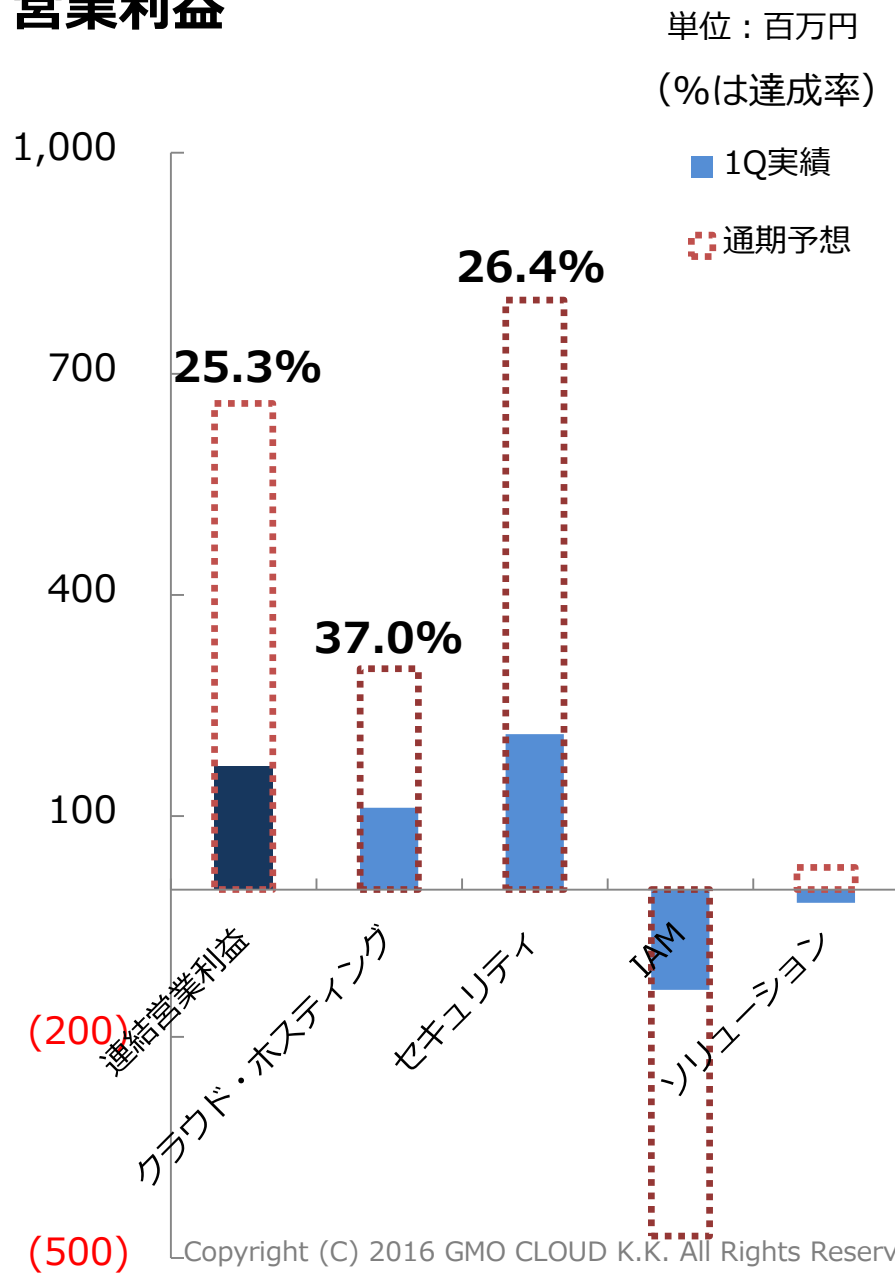
単位：百万円	2015年 1Q	2016年 1Q	
営業キャッシュ・フロー	292	267	税前四半期純利益 119百万円 減価償却費 139百万円 のれん償却額 68百万円 売掛金の増加 79百万円 法人税等の支払額 119百万円
投資キャッシュ・フロー	-128	-154	
財務キャッシュ・フロー	-267	-212	固定資産の取得 169百万円
現金同等物の増減額	-172	-151	
現金及び現金同等物の 期末残高	2,461	3,618	リース債務の返済 60百万円 配当金の支払額 150百万円

※営業キャッシュ・フローから投資キャッシュ・フローを差し引き算出

売上高



営業利益



2016年12月期通期業績予想

セキュリティ、ソリューション事業の伸びで増収も、IAM事業のれん償却^{※1}と持分法会社の積極投資により利益は同額予想

単位:百万円	2015年12月期 (実績)	2016年12月期 (予想)	2015年比
売上高	11,278	12,100	+7.3%
営業利益	480	660	+37.4%
経常利益	559	550	- 1.8%
当期純利益 [※]	327	327	0.0%
1株当たり 純利益(円)	28.10	28.10	-

※1. IAM事業においては、年間約2.8億円のれん償却費

※2. 親会社株主に帰属する当期純利益

2016年12月期通期業績予想〔セグメント別〕

クラウド・ホスティング事業はのれん償却軽減、営業利益増益 セキュリティ事業は、投資案件継続し、一時的に減益

売上高

単位： 百万円	2015年 12月期 (実績)	2016年 12月期 (予想)	2015年比
クラウド・ ホスティング	5,736	5,567	- 2.9%
セキュリティ	4,401	4,924	+11.9%
IAM	214	347	+62.2%
ソリューション	1,087	1,400	+28.8%
消去又は 全社	-162	-138	—
連結計	11,278	12,100	+7.3%

営業利益

単位： 百万円	2015年 12月期 (実績)	2016年 12月期 (予想)	2015年比
クラウド・ ホスティング	208	300	+44.2%
セキュリティ	832	800	-3.8%
IAM	-473	-470	—
ソリューション	-88	30	—
調整	0	0	—
連結計	480	660	+37.4%

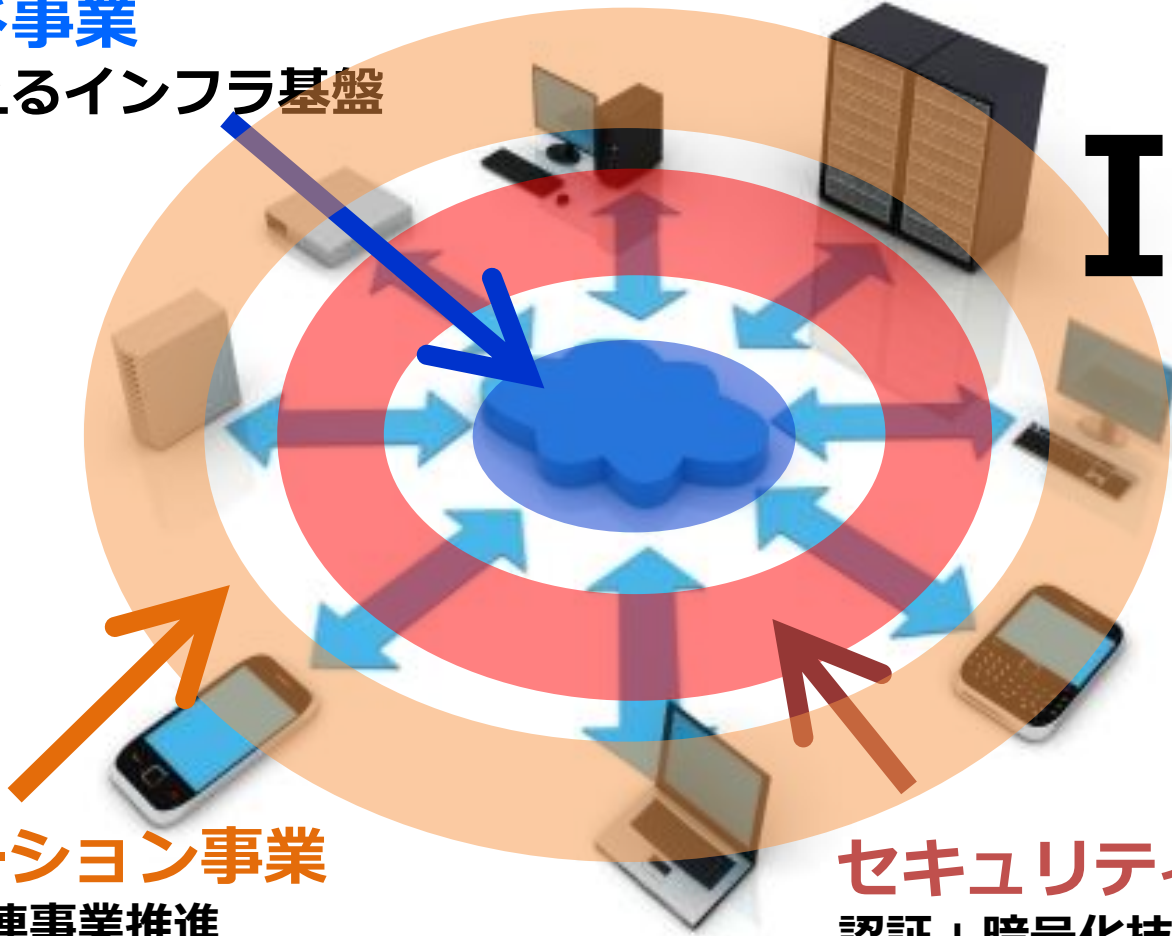
3. 事業概況

クラウドを基盤に、セキュリティとIAMで、IoT社会の発展に貢献

クラウド事業

IoTを支えるインフラ基盤

IoT



ソリューション事業

IoT周辺関連事業推進

セキュリティ、IAM事業

認証 + 暗号化技術、ID一元管理

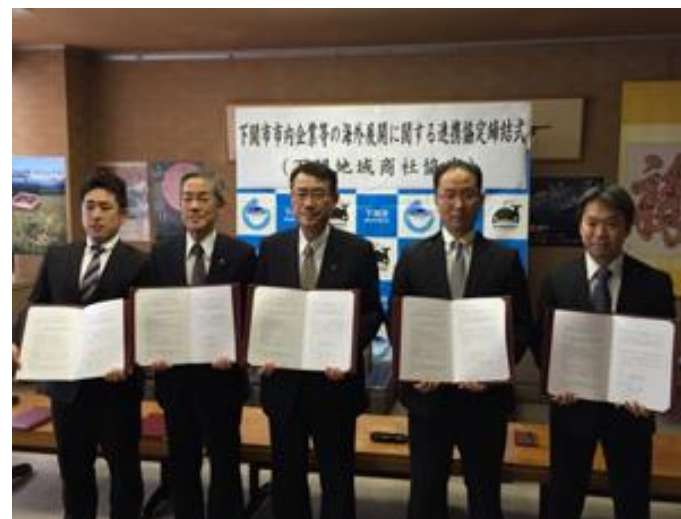
3. 事業概況

クラウド・ホスティング事業

✓ 下関市と地域企業の海外展開の連携協定を締結

行政と下関市に拠点を置く大学、貿易機関、貿易コンサル、金融機関、IT企業が集結。擬似的な貿易会社として、市内企業の海外展開を支援

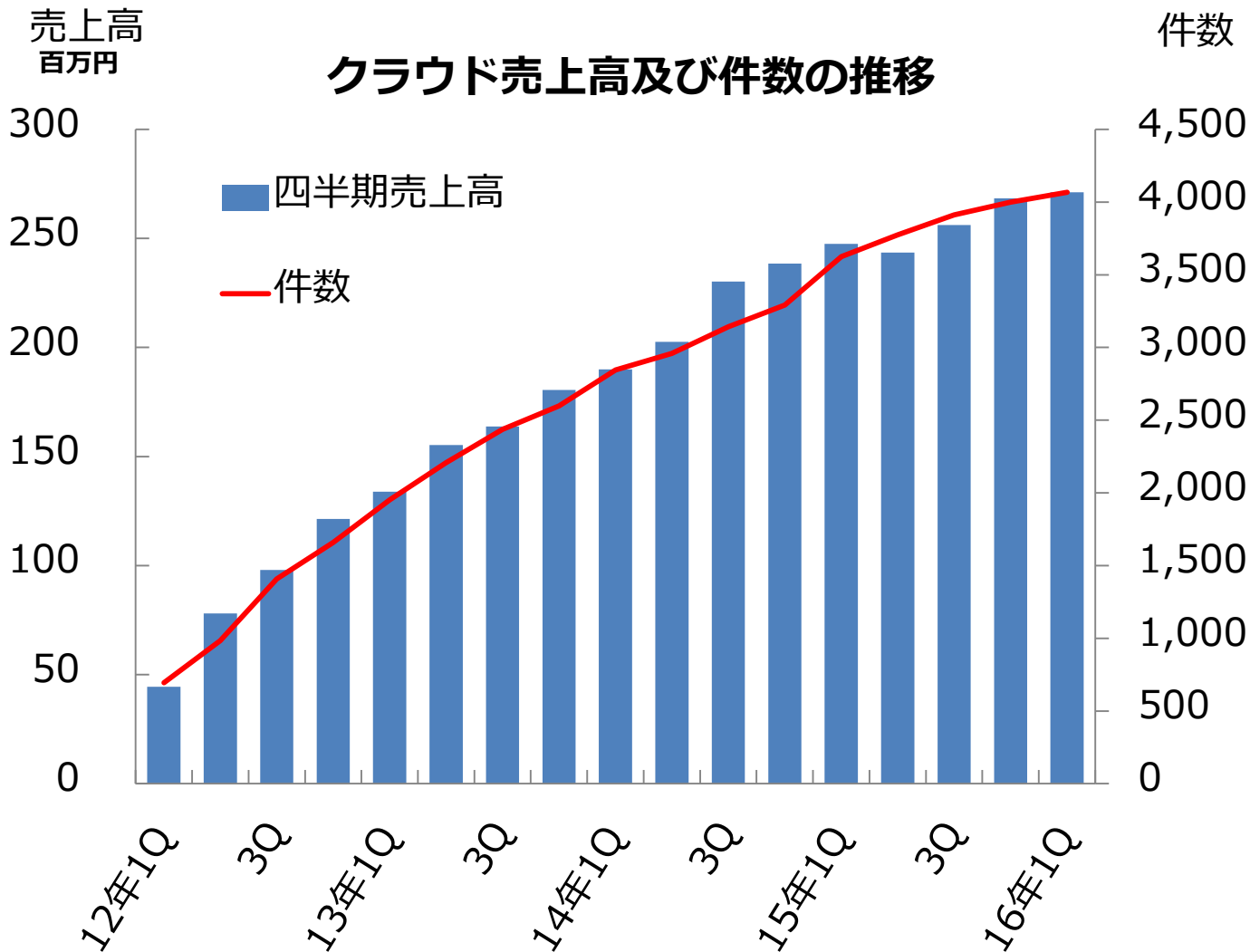
締結式の様子



※本協定締結式に関する下関市の発表については、以下のURLをご参照ください。

[URL:http://www.city.shimonoseki.lg.jp/www/contents/1455844654400/index_k.html](http://www.city.shimonoseki.lg.jp/www/contents/1455844654400/index_k.html)

利用者件数4,000件突破！ 順調に推移



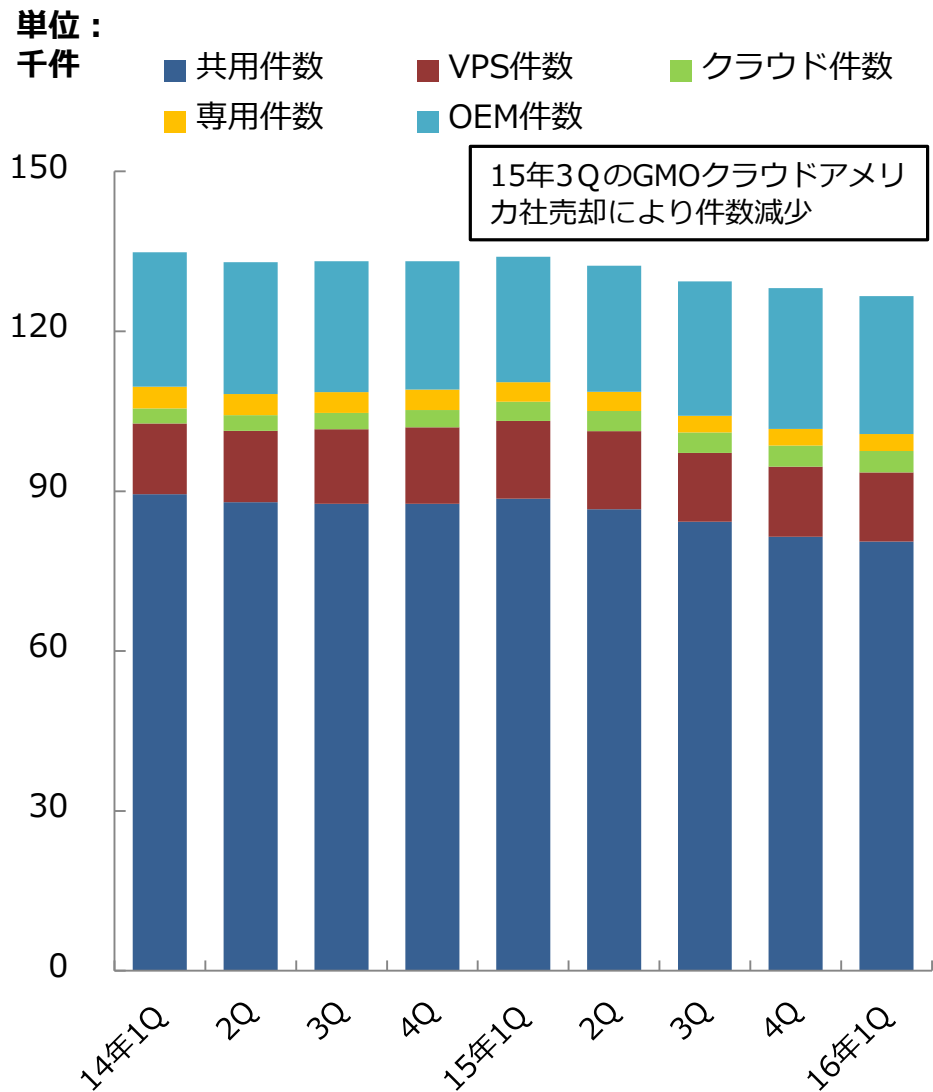
2016年第1四半期

売上高：271百万円

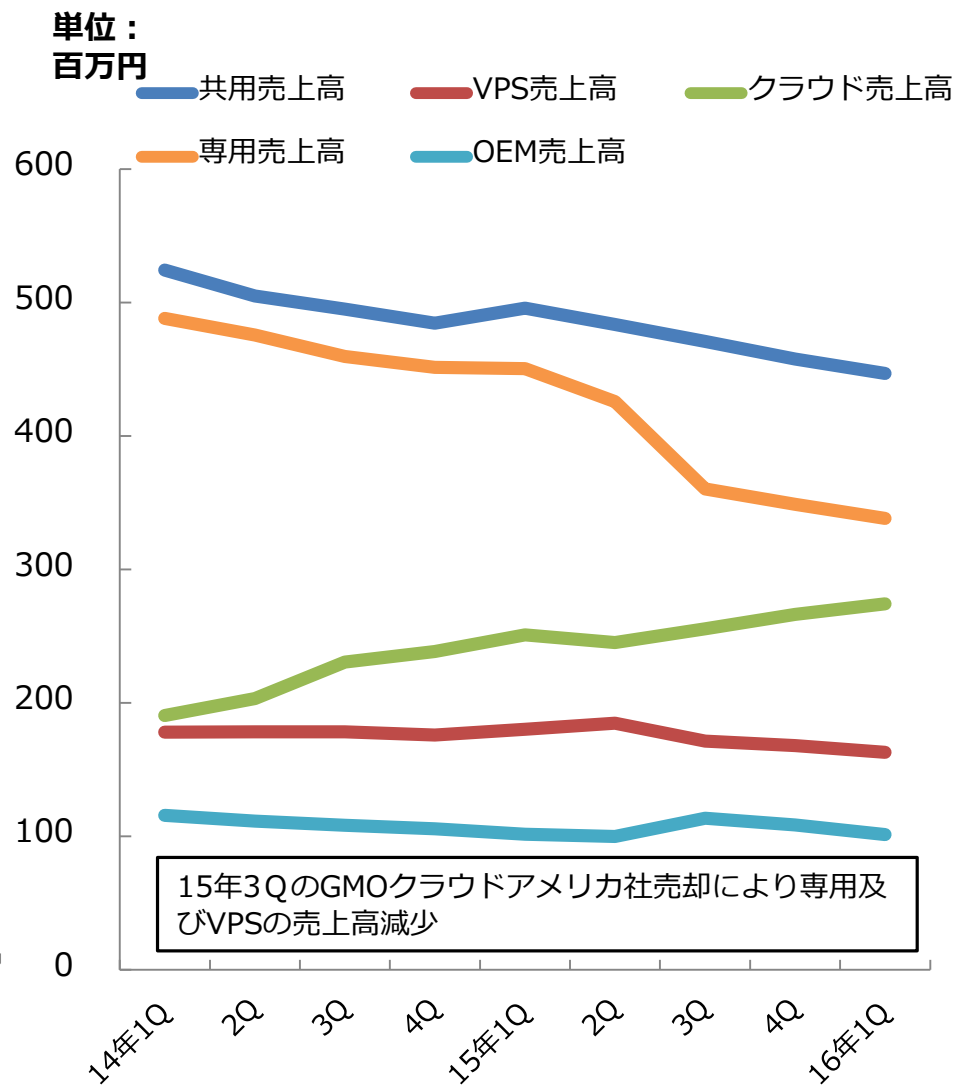
前年同期比：

+9.6%

四半期別 商材別件数



四半期別 商材別売上高



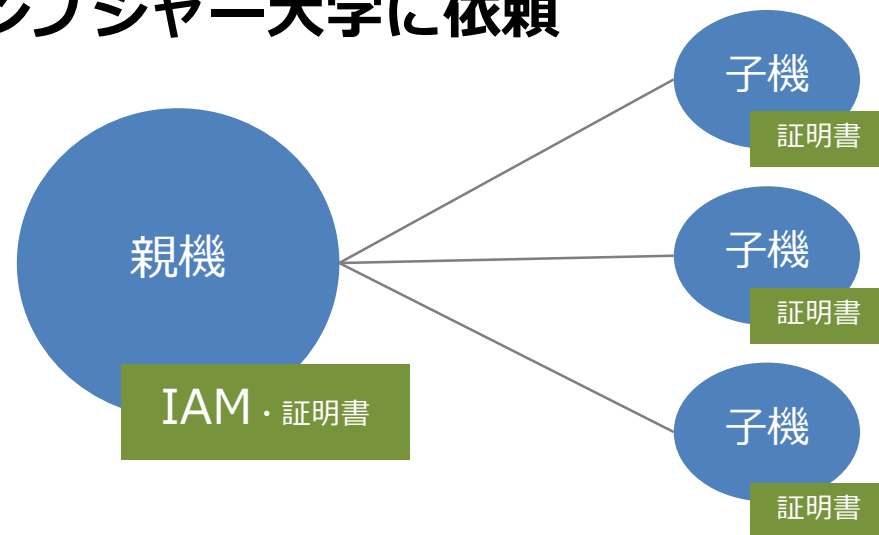
3. 事業概況

セキュリティ事業

- IoT環境における高度な通信セキュリティ実現に向け、当社とインフィニオン社の半導体ウェアを活用した相互運用性テストを実施
- 検証試験を第3者機関のニューハンプシャー大学に依頼



インフィニオン・テクノロジー社
 半導体ソリューション、マイクロコントローラー、LEDドライバ、センサー、自動車産業およびパワーマネジメントICに数多くの製品・サービスを提供

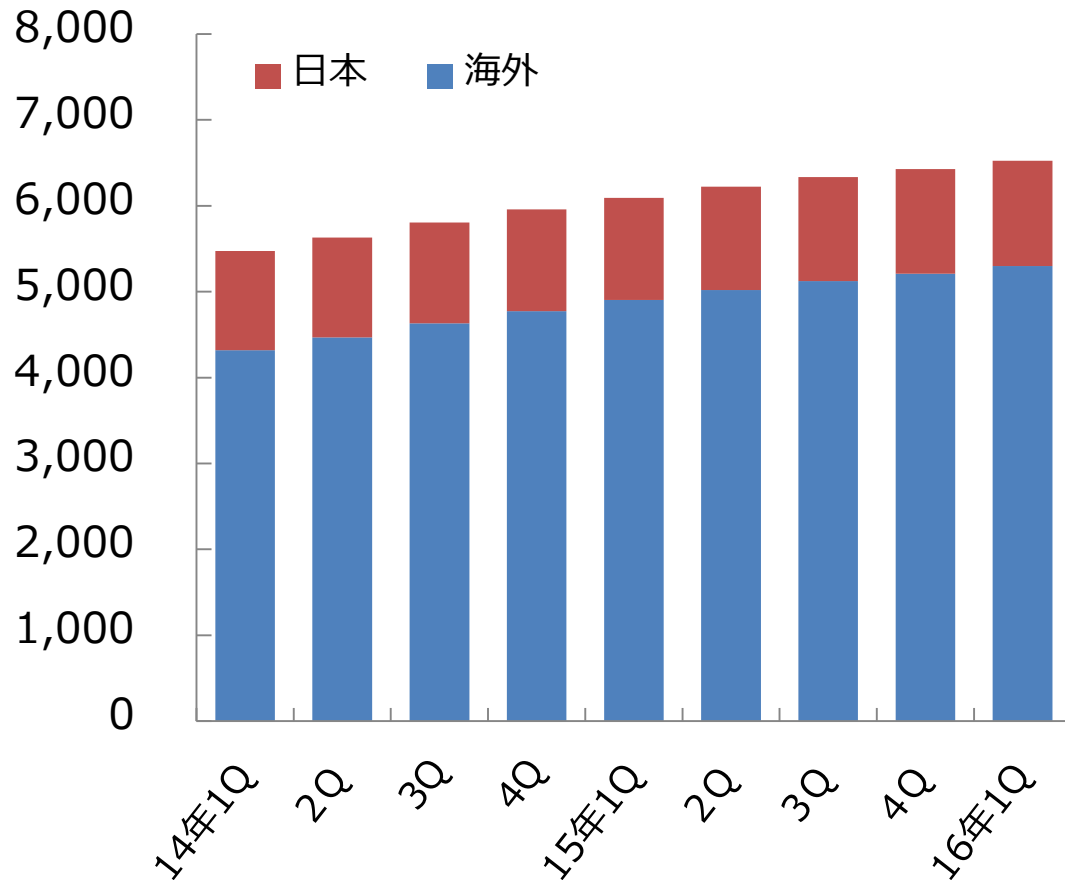


ニューハンプシャー大学



代理店数推移

単位：件



順調に代理店数を拡大

2016年第1四半期

日本： 1,223件

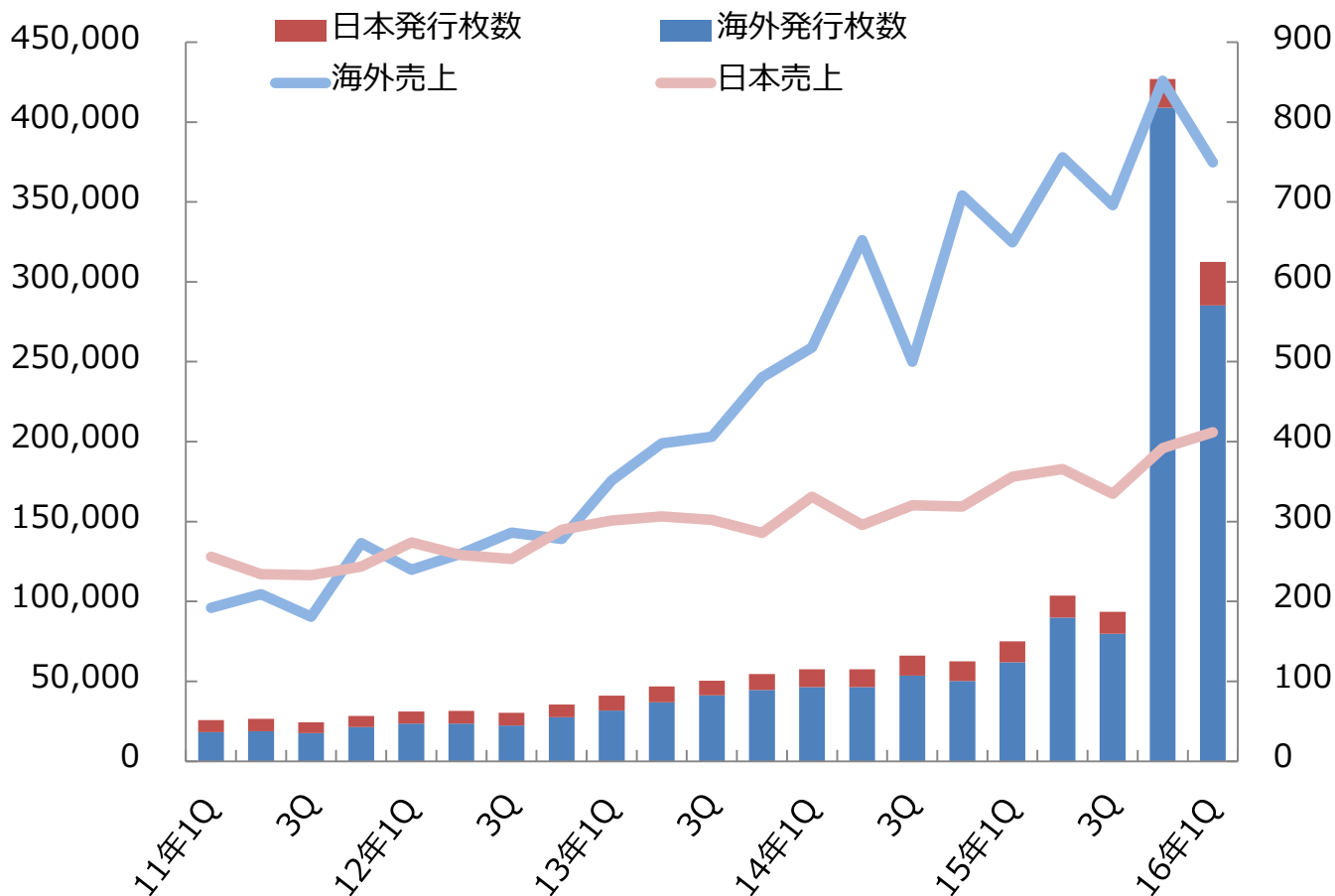
海外： 5,300件

合計： 6,523件

SSLサーバ証明書発行枚数推移

発行枚数
単位：枚

売上高
単位：百万円



✓ 海外はライセンス
ディール※の要因で売
上と発行枚数の相関
関係が不一致

2016年第1四半期

日本： 27,263枚

海外： 285,293枚

合計： 312,556枚

前年同期比 237,518
枚 3.2倍の増加

※一定の枚数まで自由に発行できる契約形態

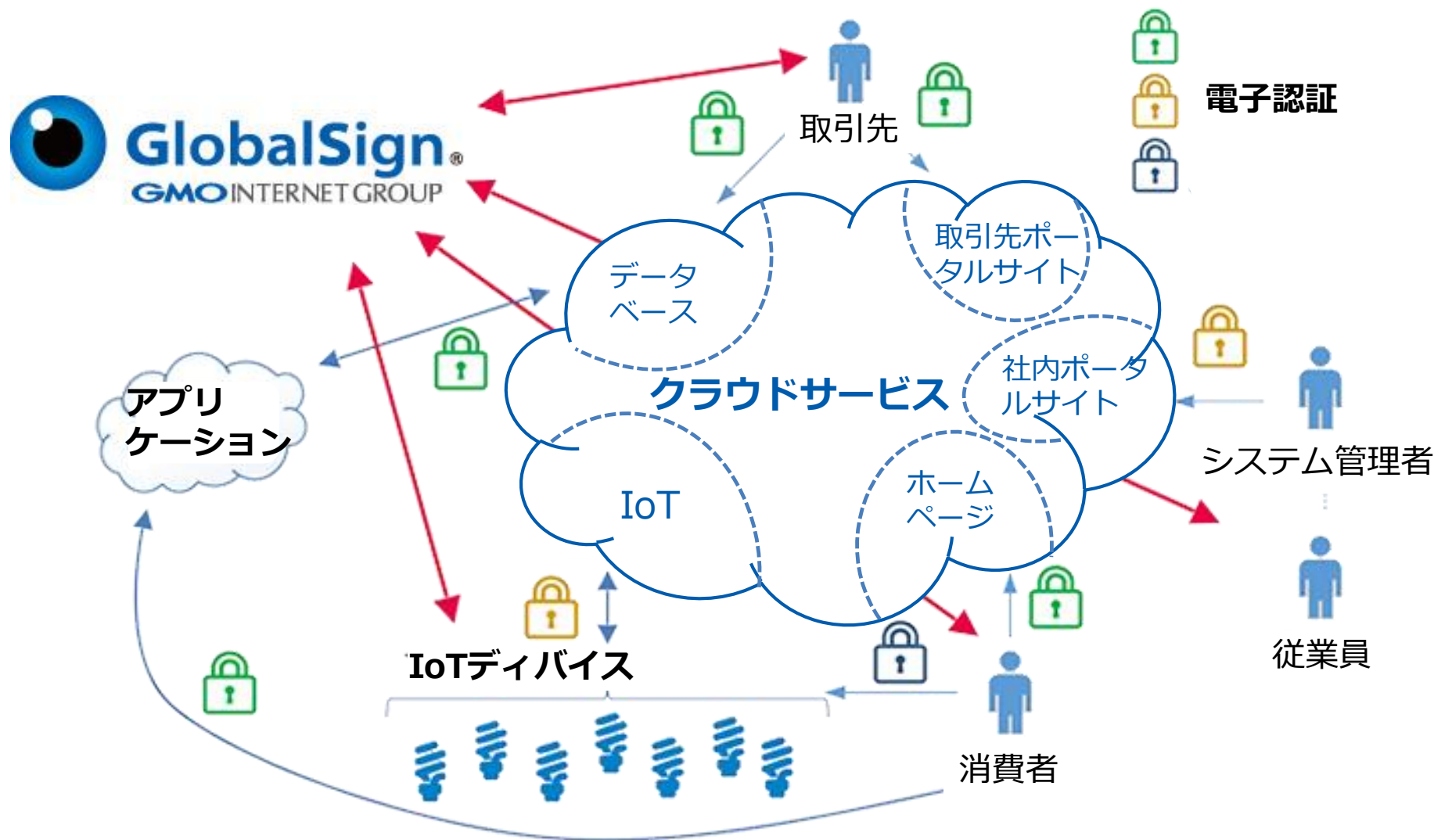
3. 事業概況

I A M※ 事業

※ IAMとは、複数アカウント(ID)を統合管理し、さらにアクセスの範囲や権限なども詳細に設定し認証するシステム

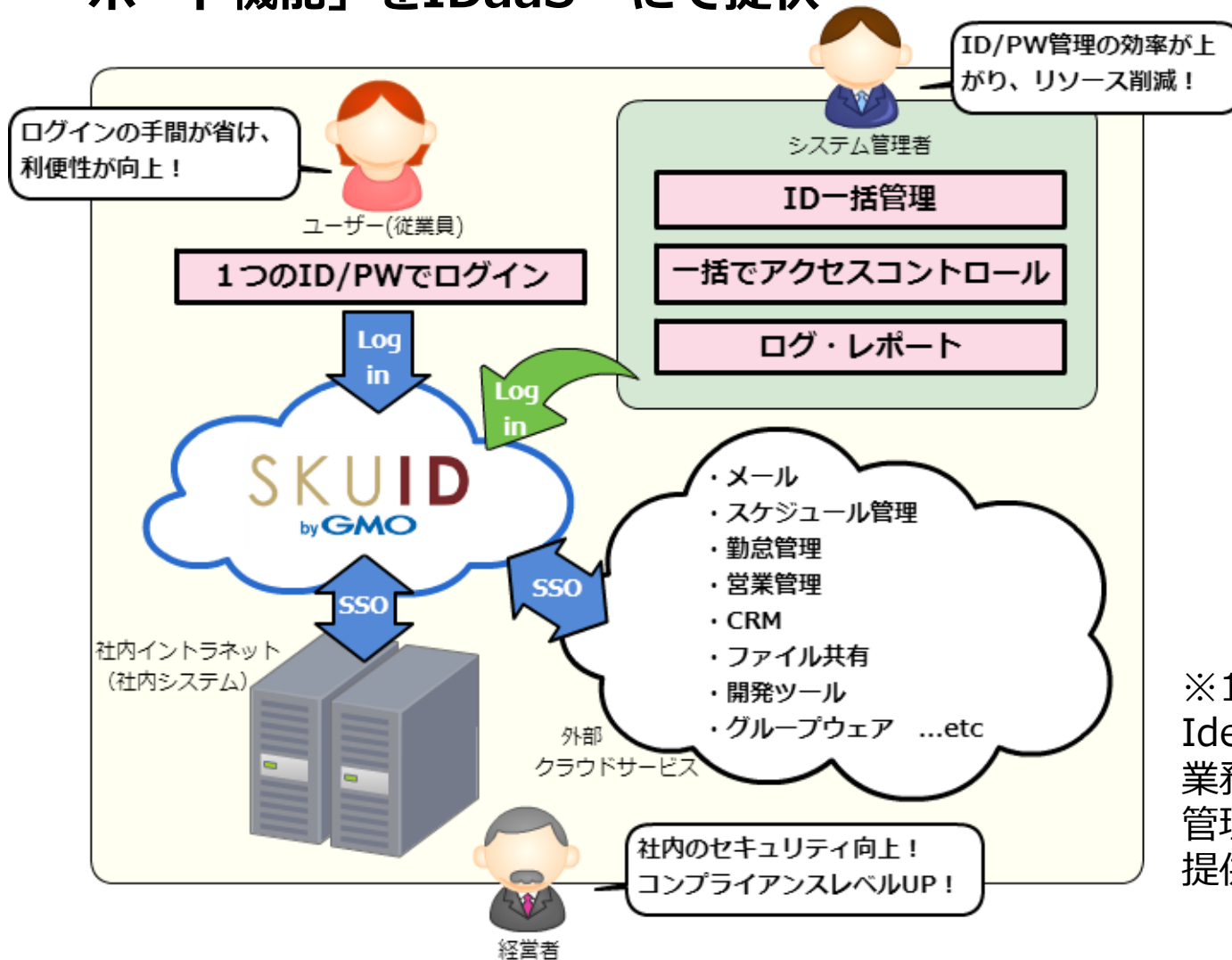
電子認証とIAMの利用シーン

- ✓ 当社のセキュリティとIAM事業の技術を中心に、IoT環境での安全なセキュリティ環境を実現



「IDアクセス管理サービス SKUID byGMO」β版の提供開始

- ✓ 社内システム、クラウドサービス、Webアプリの利用時に必要な「ID管理」「シングルサインオン」「アクセスコントロール」および「ログ・レポート機能」をIDaaS*1にて提供

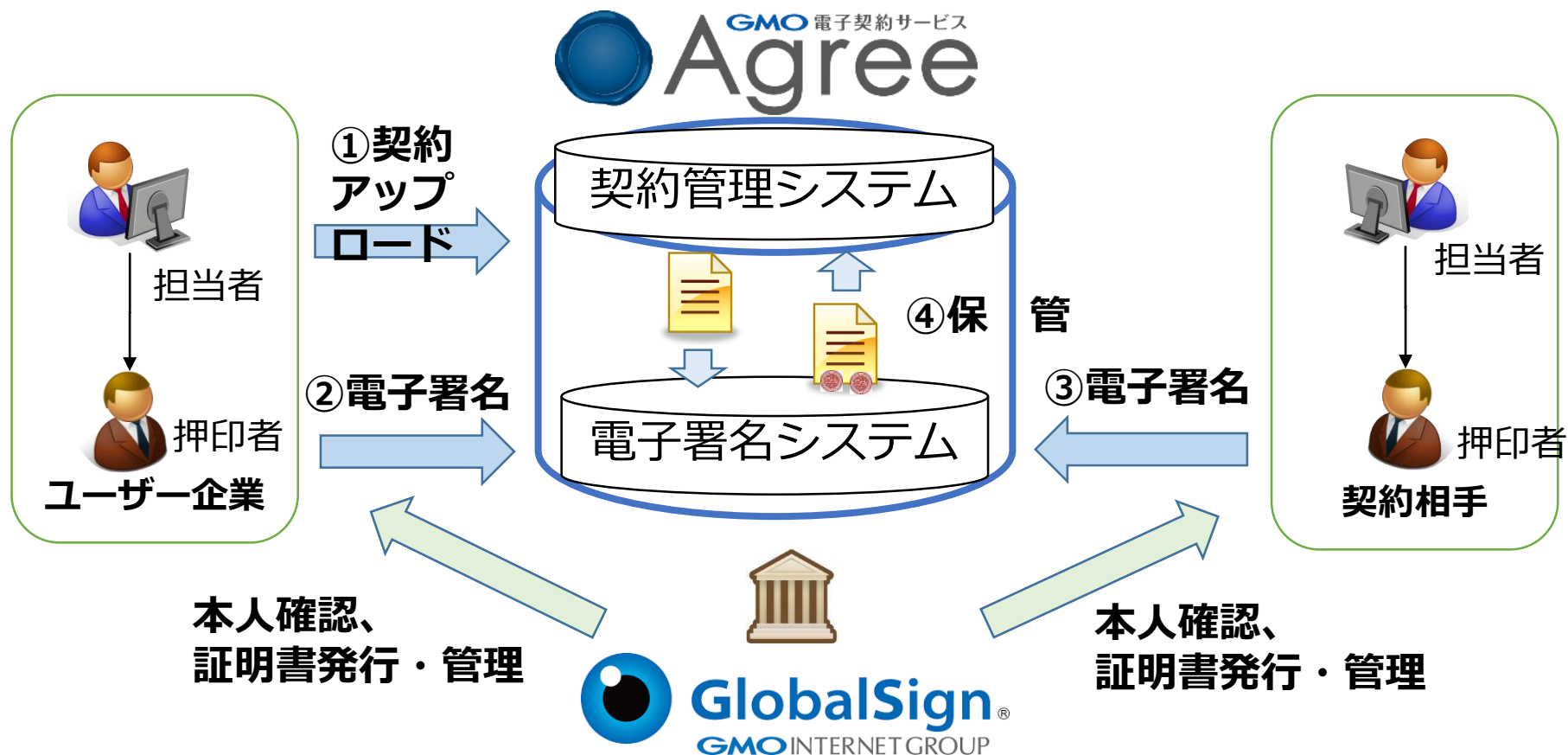


※1 IDaaS : Identity as a Serviceの略。業務アプリケーションIDの管理、SSOをクラウド上で提供するサービス

3. 事業概況

ソリューション事業

0円から使える「GMO電子契約サービス※1 Agree」を展開



※1:電子契約サービスとは、これまでの「紙+印鑑」の契約に代わり、「電子データ+電子署名」による契約形態のこと。印紙税課税対象外等のメリットが有る



コスト削減

印紙税、郵送費、印刷・製本・郵送・保管などの作業コスト削減



スピード締結

クラウド上で締結手続きが完了、最短数分で契約締結可能



コンプライアンス強化

契約手続を可視化し、締結漏れ防止
更新管理機能により、更新・解約漏れ防止



証拠力

GlobalSign電子証明書により電子署名
紙の契約と同様の証拠力（電子署名法3条、民事訴訟法228条）



誰とでも締結できるN:N型のサービス設計

1つのアカウントと電子証明書で、いかなる企業とも電子契約締結可能



紙の契約書も一元管理

紙の契約書もスキャンして電子契約と一緒に保管・検索・管理可能

O2O※¹集客支援アプリ制作サービス

国内シェア最大級 **670件超**の納品実績※²

東南アジア、北米での海外提供件数は、110件

主な機能・特徴

機能追加

GMOおみせアプリ



画面イメージ

スライド写真
好きなサイト・ブログ
へのリンクが可能

メイン機能
スタンプ、来店履歴等

基本機能
予約、地図、決済、
Beacon機能等

インバウンド向けに、 「多言語対応機能」を提供開始

沢山の要望に応え、スマートフォン端末の言語設定に合わせて自動的にアプリの表示言語の切替え機能

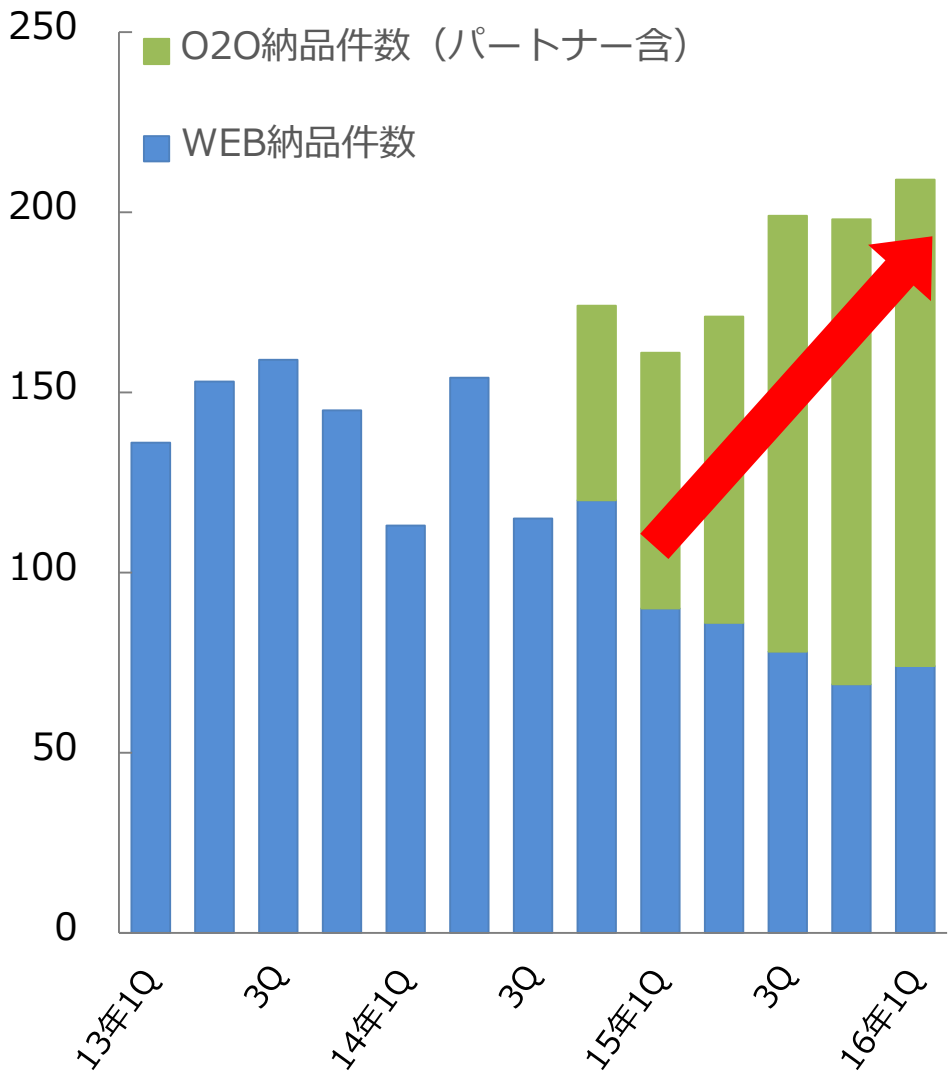
海外では、2016年2月より
「Z.com My Store App」ブランドに統一。タイ、ベトナム、アメリカを中心に展開中

※1 O2O: オンラインとオフラインの購買活動が連携し合う、または、オンラインでの活動が実店舗などでの購買に影響を及ぼすこと

※2 直販および販売パートナー合わせた納品件数

納品件数の推移

納品件数 単位：件



HP制作から、O2Oアプリ (GMOおみせアプリ) へ注力、順調増加！

2016年第1四半期

HP制作サービス

売上高： 43百万円

納品件数： 74件

O2O制作サービス

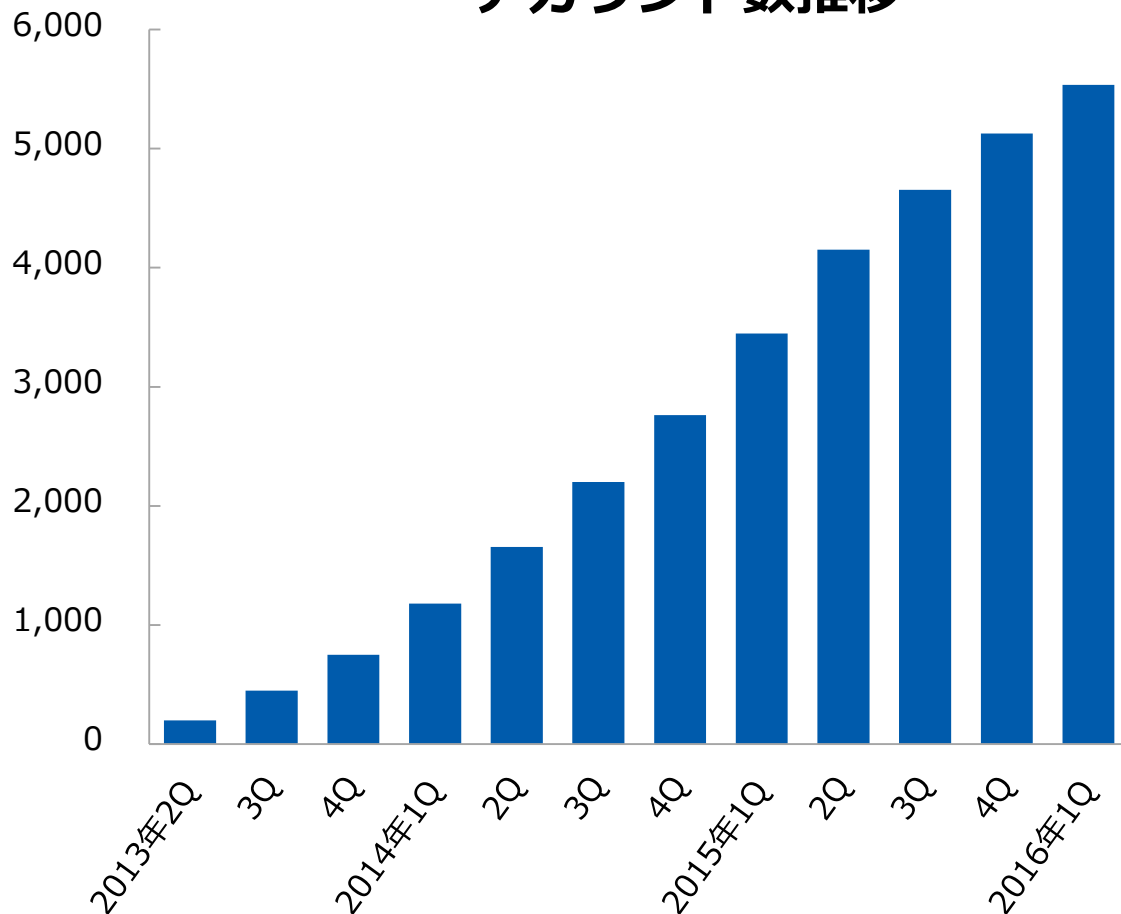
売上高： 43百万円

納品件数： 135件

大手ゲーム開発会社と続々取引開始

累計数(人)

アカウント数推移

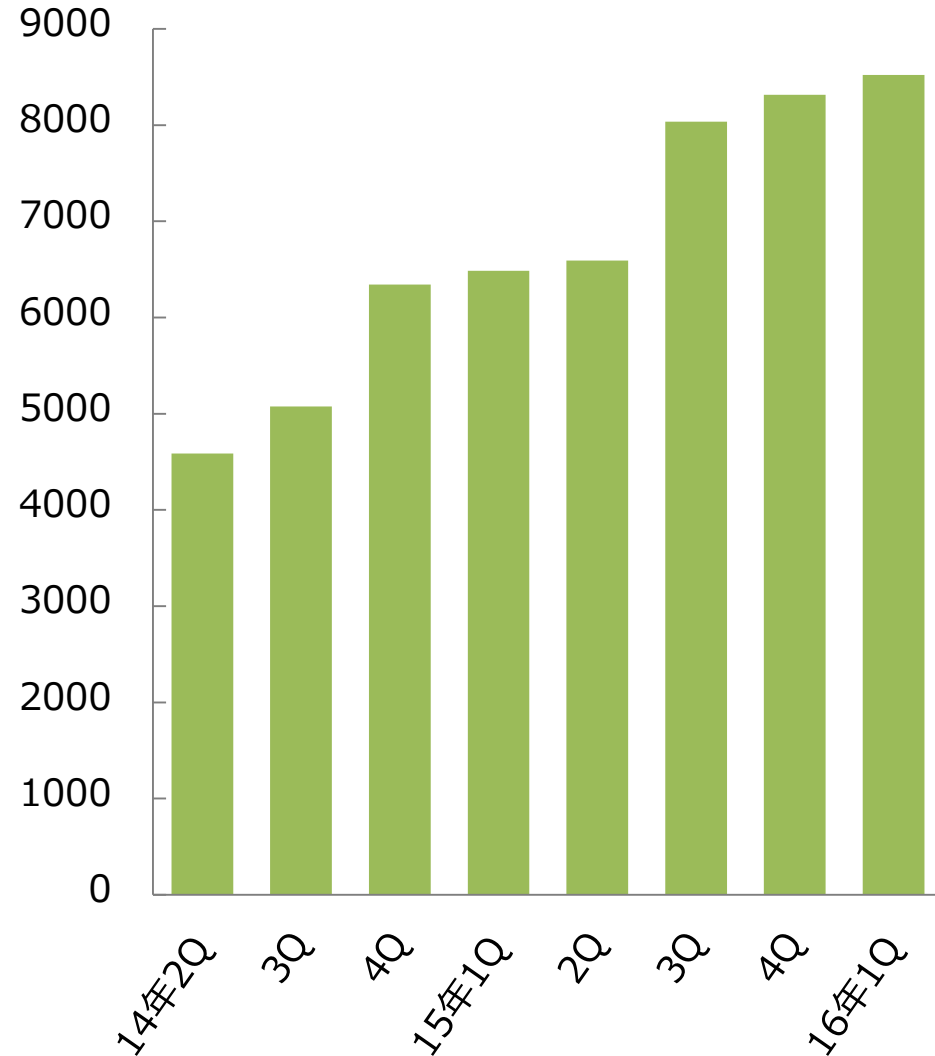


- ✓ ガンホー、セガネットワークス、クルーズ、ワンダープラネットさま等複数のゲーム開発会社と取引を開始
- ✓ 既存ユーザーからの追加注文増加に伴い売上順調拡大

四半期別過去最高の受注件数を更新！

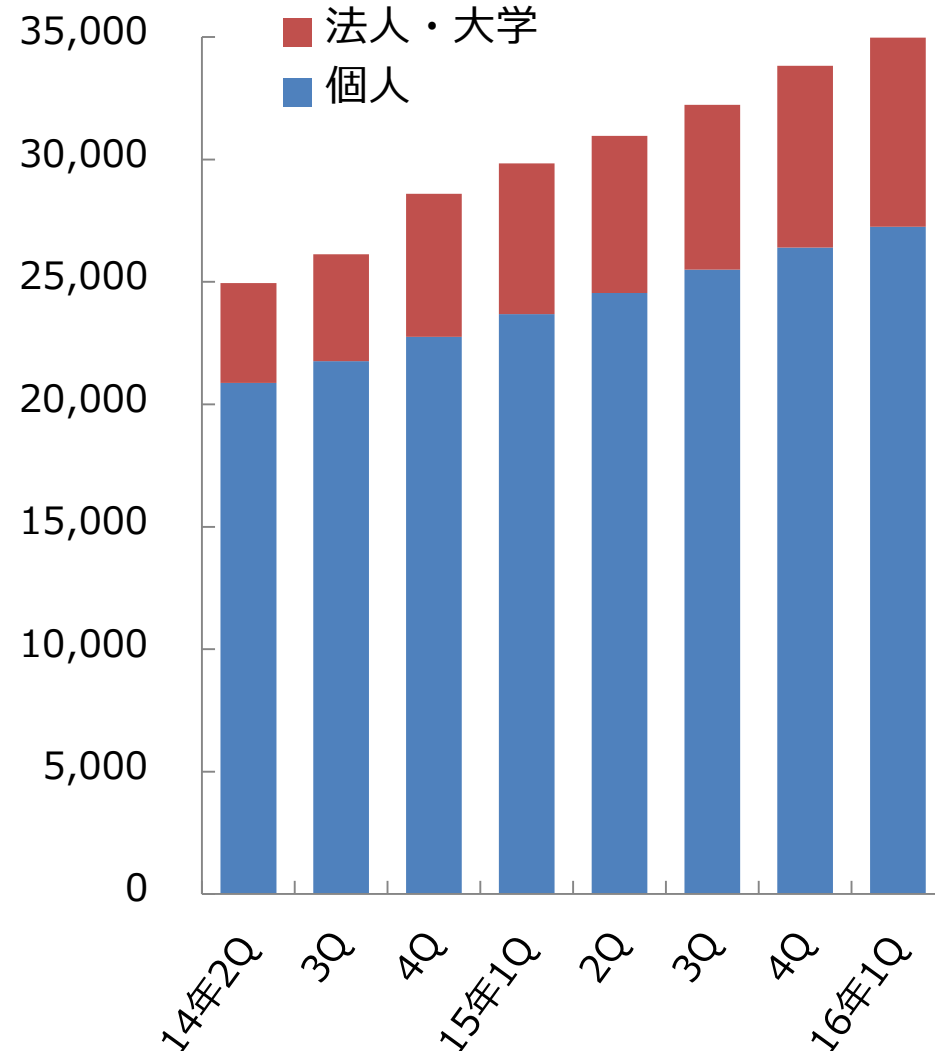
受注件数

単位：件



累計会員数

単位：件



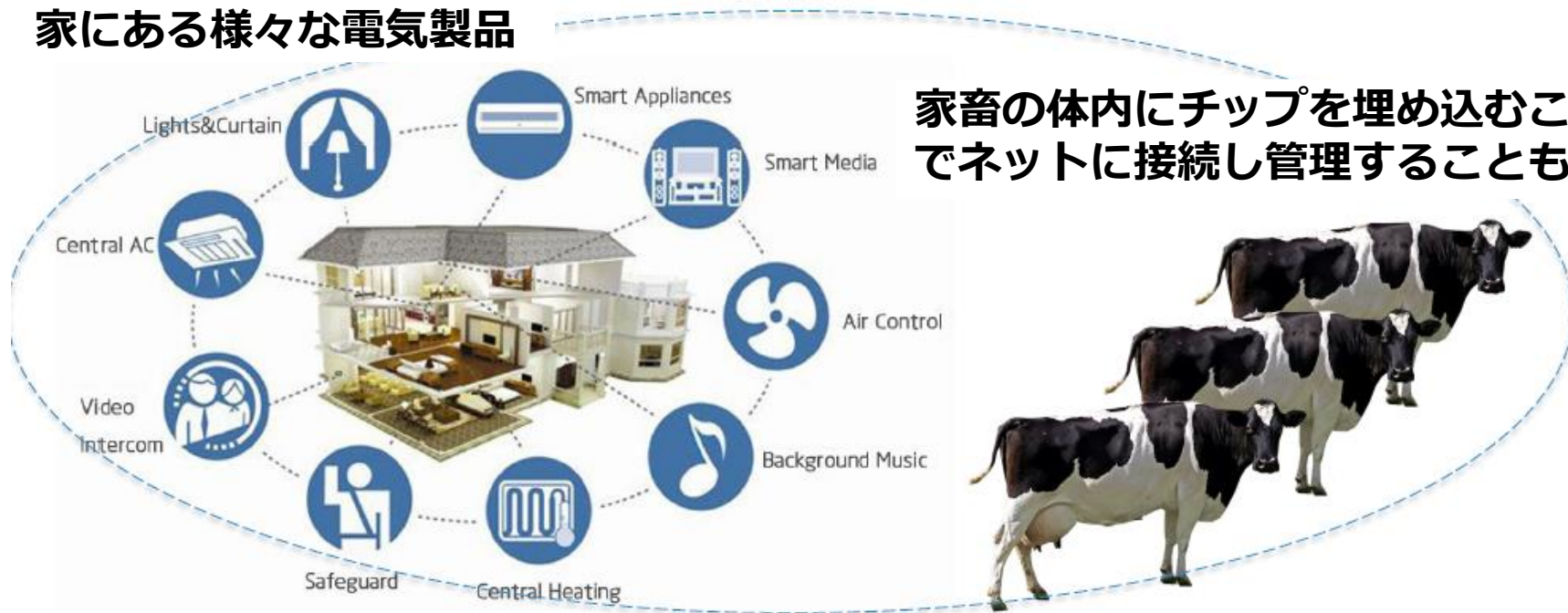
4.IoTにおける当社の成長戦略

IoTとは、“モノのインターネット”

家電製品をはじめ、身の周りにある様々なモノが
インターネットに接続される技術

2020年、**約280億超**のモノがインターネットに接続

家にある様々な電気製品



健康、医療、車、交通、エネルギー、工場、整備 など広い適用範囲

- つながる世界 モノ同士も自在につながることが・・・
- 利便性だけでなく、**リスクも増大**
 - ✓ 何が繋がっているのかが分からない
 - ✓ 通信（つながり）が安全か分からない
 - ✓ プライバシーにかかわる情報漏えいの不安
 - ✓ 不正な指示、設定変更
 - ✓ 命にかかわることも…

重要なのは・・・

- ✓ 機器やサービスを安全・安心につなげる仕組み
- ✓ 機器同士が相手の信頼性を確認する仕組み

ID管理統制、高セキュリティ認証が必須！

WebからIoTインフラ提供事業者へ 進化するための戦略3要素

1. 事業構造
2. グローバル展開
3. 販路拡大、提携


セキュリティ事業と高付加価値サービスに注力、 また各事業間の連携を高める

セキュリティ事業

高速大量発行可能なシステム投資

マイナンバー制度対応オンライン本人確認サービス

I A M 事業

汎用性を高め、グローバル展開  IDaaS

クラウド・ホスティング事業

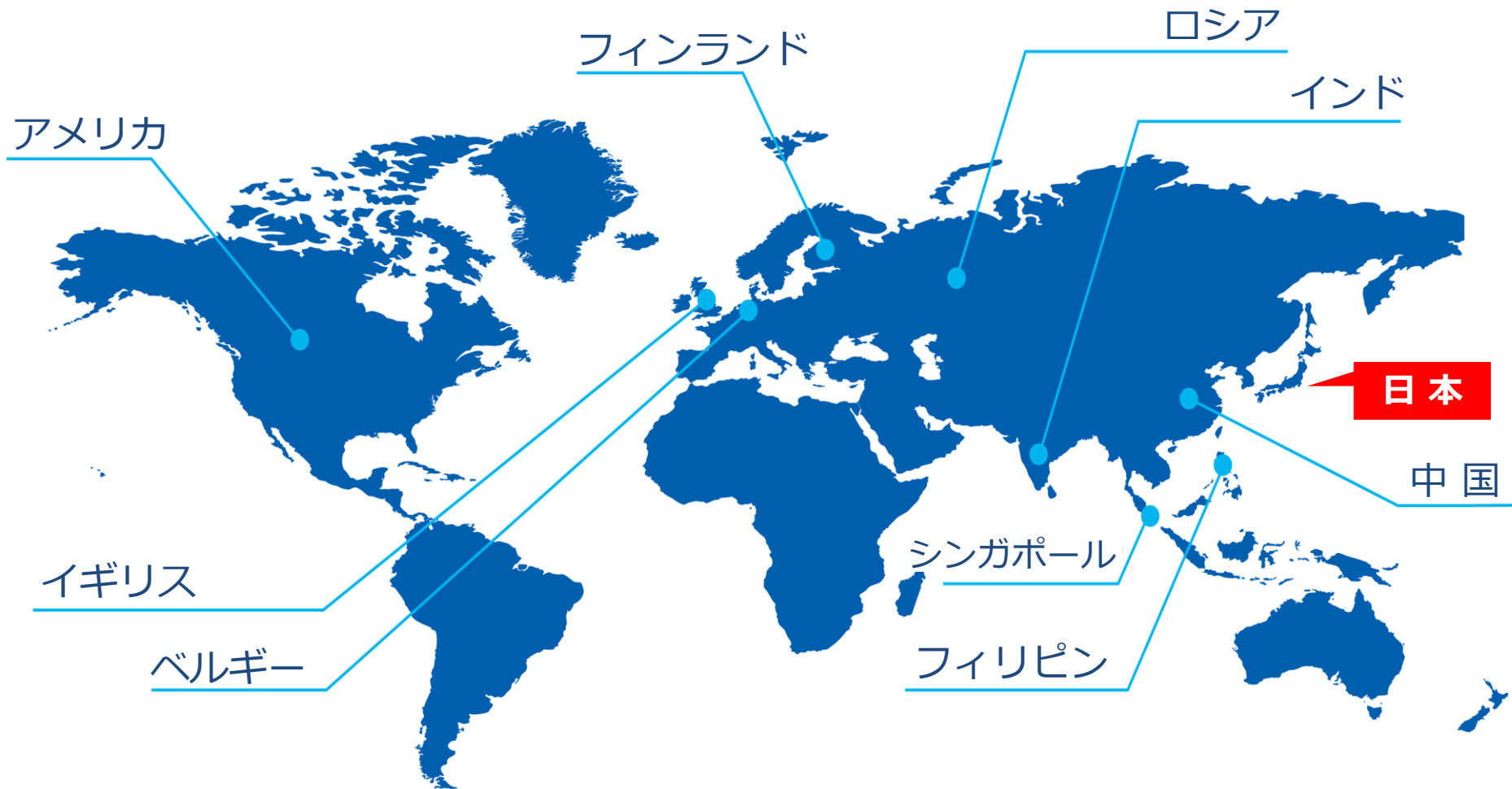
既存サービスの集約による収益力向上

IoT基盤の提供

ソリューション事業

他事業他業種との組合せによる付加価値事業拡大
各種取引のプラットフォームの開発と提供

- 世界に通用するビジネスを拡大
- IAM商材のグローバル化対応実施



GMO Z.com社に出資することで、
Z.comブランド名でも各種サービスを海外展開

当社商材提供

GMO おみせアプリ

GlobalSign®
GMO INTERNET GROUP

IDaaS

GMO CLOUD

出資

Z.com

1.収益、ブランドの向上:

大手通信キャリア、ITサービス会社に対し、IAM(IDアクセス管理)、認証技術を提供

2.販路の拡大:

セキュリティ代理店数6,523社（2016年3月末）
（前年比7%増）

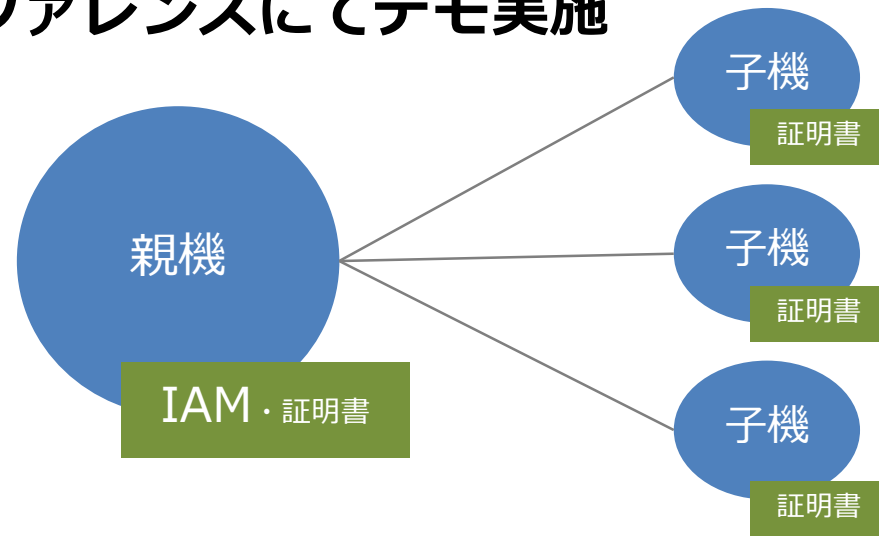
3.技術提携:

セキュリティ会社、半導体メーカーと今後のIoTに関する様々なセキュリティ技術提携を実施

- IoT環境における通信セキュリティの欠陥を埋めるため、
当社の技術を組み合わせたサービスを第三者研究機関のもとで検証
- サンフランシスコでのRSAカンファレンスにてデモ実施



インフィニオン・テクノロジー社
 半導体ソリューション、マイクロコントローラー、LEDドライバ、センサー、自動車産業およびパワーマネジメントICに数多くの製品・サービスを提供



ニューハンプシャー大学



GMO CLOUD

インターネットを通じて
お客様のビジネスと社会の笑顔を支える
グローバルカンパニーへ



当資料に関するお問合せ先

GMOクラウド株式会社

社長室 IR担当 池谷、松下

TEL : 03-6415-6100

E-mail : ir@gmocloud.com または

<https://ir.gmocloud.com/contact/ir/>

よりお問合せください。